

YBVR が 150 万ドルの資金調達を実施

Verizon Ventures、TCA および Wayra (Telefonica 傘下) が参加

XR 動画のプラットフォーム、5G とエッジの処理能力を駆使した没入型 360 度動画ストーリーミングサービスを展開

カリフォルニア州サンホセ -2021 年 2 月 17 日- 次世代 XR 動画配信プラットフォームの YBVR は本日、プレシ リーズ A ラウンドとして Verizon Ventures、Wayra (Telefonica 傘下) および TCA から 150 万ドルの資金調達を実施したことを発表しました。

YBVR の動画プラットフォームが提供する 360 度ストーリーミングによりバーチャルビュー体験が劇的に向上します。今回の資金調達により、次世代テクノロジーを駆使した 8K 超高解像度動画のライブ配信が可能となり、当社にとっての大きな転換点となります。これによりすべてのデバイスで 1 秒未満の超低遅延での配信を実現でき、特別な体験を提供することが可能になりました。YBVR の共同設立者兼 CEO の Hector Prieto 氏は、「社会における価値やサステナビリティに大きな変化をもたらす没入体験型のスポーツ・音楽イベントで収益化を図るお客様とパートナーの皆様のため、全力で取り組んで参ります」と述べています。

現在、YBVR のプラットフォームは 2021 年全豪オープン(メルボルン)や 2021 年ファン・コントロールド・フットボール(アトランタ)、ユーロリーグ・バスケットボール F4(ドイツ・ケルン)などのイベントの配信に使われており、世界中のスポーツ・コンサートファンに接続デバイスを通して完全没入型のビューイング体験を提供しています。超低遅延の実現により、複数のカメラアングルから同時に動画を選択することが可能になり視聴者はパーソナライズされた観客体験を得ることが可能になりました。

すでに発表されている Verizon の 5G Ultra Wideband ネットワークを使った AWS Wavelength 上に YBVR のプラットフォームをデプロイすることで、リアルタイム(1 秒未満の遅延)に没入型コンテンツをストーリーミングすることが可能です。

Verizon Ventures 社の代表取締役である Kristina Serafim 氏は、「YBVR の没入型ストーリーミングプラットフォームであれば、現実に近い方法で誰もが試合やコンサートにアクセスすることが可能となり、会場に行けない視聴者に他では得られない体験を提供できます」と話しています。

YBVR は International Bowling Federation (IBF) とも協力をし、2021 年の世界のボウリングコンテンツを 300 時間以上にわたりライブ配信する予定です。

YBVR について

YBVR は、スポーツファンがライブで試合を観戦する方法について、その概念を塗り替え、自宅で、移動中に、そしてスタジアムで楽しむための手段を提供しています。今や、実際に試合会場に足を運ばずとも、どこでも「そこにいる」感覚を体験することができます。YBVR が持つクラウドベースのテクノロジーは、スポーツ・音楽イベントの主催者とコンテンツの権利保持者に新たな収益源を提供します。そしてコンテンツの消費者であるファンは、携帯電話や XR デバイス上で特別な視聴体験をすることで、ライブストリームを楽しむための時間帯や方法と一緒に視聴する仲間を選択することが可能になりました。

YBVR は本社を米国カリフォルニア州、営業拠点を日本に構えています。

連絡先: 宮本由紀 (yuki@ybvr.com)